

高輪会会報

Reunion of Tokai University Takanawadai Senior High School



東海大学付属高輪台高等学校同窓会会報

発行所：東海大学付属高輪台高等学校同窓会
〒108-8587 東京都港区高輪2-2-16
Tel.03-3448-4011 Fax.03-3448-4020



Vol. 10

「高輪会」は、電気通信工業学校、電波工業学校、東海工業学校、東海高等学校・併設東海中学校、東海電波高等学校、東海大学高輪台高等学校、および東海大学付属高輪台高等学校の同窓会です。

題字は東海大学総長松前達郎先生

第四回高輪会総会を終えて

高輪会会長 土方 啓司



平成 16 年 10 月 2 日東海大学校友会館にて多数の会員の方々にお集まりいただいたなかで、高輪会第四回総会を無事に終えることが出来ました。平成 7 年に第一回総会が行われ高輪会としての活動が始まってから 9 年の歳月が過ぎ高輪会第四期がスタートいたしました。その間、母校である東海大学付属高輪台高等学校の進展は新校舎の落成から男女共学制への移行、総合グラウンドの購入、クラブハウスの落成、スーパーサイエンスハイスクールの認定等々目覚ましいものがあり、詳しくはその時々のお報でご紹介してまいりました。高輪会も発足当初の会員数 17,625 名から現在では 21,760 名となり、会員数もさることながらその年代差も大きな同窓会となってきております。高輪会活動にしましても、再開当初は試行錯誤の時もありましたが年月を経るに従いある方向性が見えてきたものと感じております。ご存知のように高輪会総会は 3 年毎の開催であり、もちろん参加いただくのは全会員の方々であります。総会から次の総会までの 2 年間、どのような活動を行うかは会設立当初からの課題でもありました。本来ならば会としての催しには年代に関係なくお集まりいただきたいのですが会員の皆様方に共通するテーマを見出し難く、現在では総会からの 1 年目はどちらかというと社会の第一線でご活躍されている方々が納得されるような催しを、2 年目は会員となつて間もない方々に喜ばれるような催しをと考えて企画してまいりました。本年は総会の翌年にあたりますが高輪会発足 10 周年の記念すべき年であり、高輪会として発足する前の東海

同窓会から数えて 54 周年の歴史を刻んだ年ともなります。この記念すべき年に、母校並びに同窓会の歴史を後世に伝えるべく「高輪会 10 周年（副題：東海同窓会 54 周年）記念誌」を企画すると共に本年秋には記念式典を計画しております。詳しくは本会報の中に記されておりますので、会員の皆様方多数のご参加をお待ちしております。終わりに、高輪会発足当初から会運営の要として活躍されてまいりました高輪会副会長「浅野修一氏」が本年 1 月 4 日に 50 歳の若さにして急逝されました。高輪会の次世代を担うべき人物として期待すると共に頼りにもしていた人であつただけに残念でなりません。ここに改めて哀悼の意を表します。



高輪会四期体制の報告

第4回高輪会総会が、昨年10月2日（土曜日）霞ヶ関ビル33階の東海大学校友会館 望星の間にて52名の会員皆様の出席のもと、開催されました。

総会は、佐藤潔理事の司会のもと、藤原広司先生により力強い開会宣言、土方啓司会長の挨拶、杉一郎校長先生の挨拶に続いて、議事に入りました。議事進行は土方会長が佐藤理事に替わって行いました。

第1号議案1「2003年度事業報告」を三浦副会長、第1号議案2「2003年度収支報告書」を杉山副会長、第1号議案3「監査報告書」を伊藤監査、第2号議案「高輪会 会則改訂(案)」を杉山副会長が其々ご説明され、全会一致で承認されました。また、第3号議案「2004年度高輪会役員(案)」を大塚副会長から説明、第4号議案1「2004年度事業計画(案)」を浅野副会長、第4号議案2「2004年度収支計画(案)」を杉山副会長からあり、全会一致で承認され、議長を再び佐藤理事と交代しました。

新役員は会長 土方啓司（S36年卒）、副会長 大塚昭（S37年卒）、杉山守男（S40年卒）、三浦政彦（S40年卒）、浅野修一（S48年卒：H17年1月死去）、監査 本田達雄（S26年卒）、伊藤信雄（S27年卒）の体制で行います。また理事委嘱について紹介を行いました。

新任理事として渡辺隆介（H14年卒）、野村真弓（H14年

卒）、高橋昇先生（S55年卒）および藤原広司先生（学校職員）の4名が紹介されました。

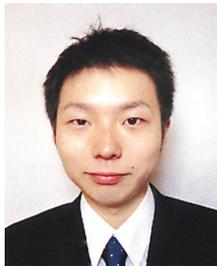
土方新会長から就任挨拶、最後に藤原理事の閉会宣言により、総会は閉会されました。

総会終了後、懇親会が開催され、お世話になった恩師と共に昔話に花を咲かせ、楽しいひと時を過ごすことが出来ました。

また、会場には高輪台高等学校 創立60周年記念として贈呈する車（7人乗りライトバン トヨタ「ウィッシュ」）の写真が掲示しました。



新役員紹介



「高輪会新役員として」

渡辺 隆介

今回高輪会新役員を勤めさせて頂くことになりました、平成14年度卒の渡辺隆介と申します。

私は高輪台高等学校での三年間はとても貴重なものでした。それは卒業とともに薄れていき、ふっと思い出した時、それは鮮やかに蘇り今の自分と対話してくれることを最近実感してきました。

先輩方の紡いでいった高輪台高校の歴史やそれぞれの貴重な時間の片鱗をこの機会を通じて知り、高校生活というものの素晴らしさを感じることができました。

新会員としてまだまだ至らない所だらけではありますが、高輪台高校を卒業したたくさんの皆さんが、あの頃のよい思い出を引き出すことができるきっかけ作りができるよう努めていきたいと思っております。



「高輪会新役員にあたって」

野村 真弓

この度、高輪会新役員となりました第53回卒、野村真弓と申します。

私は、高校には女子の2期生として入学しました。そのため色々不安もありましたが、友人や、先輩、先生方に恵まれたおかげで不安も杞憂に終わり、卒業する事にはかけがえのない思い出が沢山出来ました。

それらは今では心の糧の1つになっています。

他の卒業生の方にも、そのような思い出が沢山出来ていると思います。だからこそ皆さんが、ふと高校時代を振り返ったとき、「懐かしいな」と思えるものを1つでも多く形に残せたいと思っています。

まだまだ分からない事が多く至らない事が何かと多いですが、頑張りますので、これからどうぞ宜しくお願い致します。



高輪会10周年(東海同窓会54周年) 記念式典のご案内

母校の同窓会は、昭和26年7月1日に「東海同窓会」として発足致しましたが、残念ながら長い間有名無実の状態に置かれておりました。

この様な現状を踏まえ諸先輩方のご努力により、平成7年10月1日に新生「高輪会」として発足するに至りました。「高輪会」においては、同窓生からの役員選出を基本として、東海大学付属高輪台高等学校の寛大なる加護と協力のもとで、初代会長上島弘安氏、そして二代目会長土方啓司氏のもとで役員はもとより同窓生の協力を得て、数々の行事等を企画実施し親睦を図ってまいりました。

お陰様をもちまして、これらの行事等を縁にして多くの同窓生と親交が出来ました事は、誠に大きな前進ではないかと確信しております。

そして、「高輪会」は発足して今年で10年目を迎える事が出来ました。

この10年を節目として、「高輪会」では更に発展して行きたいと役員一同、決意を新たにしております。この10周年の節目に同窓生各位にお集まり頂き、更には、昨年、学校

60周年記念と併せて、この高輪台高等学校の歴史を語り合い当時の教職員の皆様並びに旧友と親交を新たに頂くとともに、高輪会10周年記念式典を開催したくご案内申し上げます。

当日は、記念式典の後に懇親会を開催する予定でございます。

これを契機に、今後の更なる「高輪会」発展のために皆様のご理解とご協力を切にお願いする次第です。

日時：平成17年10月22日(土)13時00分～
場所：東海大学校友会館霞が関ビル33階
会費：3,000円

「高輪会10周年記念誌の編纂」

記念誌編集実行委員会委員長 三浦 政彦

同窓会「高輪会」は、新生同窓会として再出発してから、10年目を迎える事ができました。これは偏に会員、学校関係者、同窓会を運営されている役員各位のご協力の賜物であります。

現在、同窓会10周年記念誌の編纂を進めていますが、最大の目的は、「同窓会に関する歴史を記録すること」、そして「後世に伝えること」です。「高輪会」設立までの道のりは、決して平坦ではありませんでした。1951年(昭和26年)に故多田校長先生のご尽力により、東海電波高等学校「東海同窓会」が発足いたしました。実質的な活動ができませんでした。その後、同窓会先輩の中田様(1945年卒業第一回生)を中心に先輩有志がまとまり、先生方も同窓会の実質的な立ち上げに協力して戴いたのですが、最終的には経済的な支援と協力が得られず、頓挫してしまいました。その後、同窓会の重要性を理解して頂ける学校長に替わり、1995年(平成7年)に新生同窓会「高輪会」が設立されました。この様な背景があったことを、第一にご紹介することにしていきます。

副題として「54周年」を掲げることにしていますが、故多田校長先生を中心にして1951年(昭和26年)に設立された、「東海同窓会」を意識し、会員各位に同窓会の歴史を伝える為に表示しました。

本誌を編纂する上で、会員の方々から、学生当時の思い出の品物を借用、寄贈を受け写真掲載しています。懐かしい品々が多く寄せられています。また、技術の学校であったことを記録に留めたく、学校に保管されている実験機材、部品も掲載し、解説を内田先生(2005年3月退職)をお願いしております。伊藤監査役殿(1947年卒業第三回生)からは、ご尊父(故伊藤教頭先生)が所有されていた、同窓会・学校関係の資料を数多く寄贈して頂きましたので、その中の一部を本誌に掲載します。

10月発刊を目指して、編集実行委員の皆さんは、編集作業を進めています。

高輪会より学校へ寄贈

母校が「創立 60 周年」の記念すべき年を迎えることは、我々卒業生にとって非常に嬉しい事です。

そこで、東海大学附属高輪台高校同窓会高輪会では、母校にとって何がお役に立つか、

日頃役員会等で話し合い、学校の意見も聞きながら相談し

た結果、高輪台高等学校の「創立 60 周年記念」として高輪会より“トヨタの『ウィッシュ』”を、平成 16 年 12 月 11 日に寄贈致しました。

少しでも皆様のお役に立ち、益々母校が発展することを願っています。



第三期生同期会

久しぶりの集まりは、雨の予報を吹き飛ばした池袋ピアホールでの早めの忘年会でした。

電話連絡のみで 12 名中 8 名が揃った。(4 名は残念ながら都合がつかず欠席)

何時会っても懐かしい面々、初めは和気藹藹でスタート、やがて酔いが回るにつれ、各自の主張が声高々に飛び交い、個性と個性がぶつかり合いながらエスカレートし、突っ込みばかりの受けなし漫才状態(年甲斐もなく)

年々、体調を崩したり、あちこち痛みを感じたりする仲間が増えて来てはいるけれど、こうして偶に顔を合わせてのストレス発散は、なによりのリハビリになります。

そして、最後はまた和気藹藹と来春の集まりを確認し合い記念撮影、無事終了 お疲れ様!!

次回も元気で全員で集れるといいですね。

第三期生有志



会費納入者一覧

納入者の2005年度以降の期限(下記年8月31日)を西暦にて示す。(卒業年順)

(2005年3月17日現在)

※各年度は9月1日に始まり翌年8月31日迄とする。

工業	高橋 強 09	吉田 孝雄 08	中村 道彦 14	岸 広昭 05	藤原 光 07
	脇田 喜介 05	松原 健次 07	中島 洋介 07	田中 健一 05	泉谷 剛 05
中学	須賀 隆司 07	吉岡 忠義 07	鈴木 正明 08	S52 飯島 誠 07	楠本 隆 16
	寺門 道弘 09	大槻 善弘 08	杉田 憲司 08	直井 聡 07	三谷 誠治 12
S25	松崎 正弘 06	S34 岸本 康弘 19	S41 梅原 暉一 09	山下 晃 09	望月 浩一 05
	井坂 暉夫 17	高岩 正 14	久松 博 14	佐久間信次 08	S61 高橋孝之介 06
	上倉 文彦 07	橘 寿一 14	實 寿夫 09	滝口 弘志 07	風間 勤 08
	砂押 孝司 08	星野 玉 06	斉藤 信二 07	米津 等史 07	鳥海 努 09
	谷口 正光 11	S35 澤 利雄 09	大塚 静雄 09	関 隆 05	山里 翼 09
	中田順之助 07	小林 正二 09	長井 信也 09	水無瀬元一 09	S62 魚地 博臣 07
	長門 新八 07	佐藤 毅 14	松本 仁志 07	S53 谷口 元 07	光野 文雄 06
	夏目 芳郎 07	宮内 重幸 08	S42 後藤 有三 09	泉 一則 06	新妻 吾郎 06
	長谷川善治 12	敦賀喜悦郎 16	佐々木 洋 07	飯島 和弘 08	蓮沼 和久 06
	荻久保武雄 11	田中 力 06	安田 信義 09	佐藤 正美 07	小島 圭一 12
	木俣 重隆 07	中島 勇 07	栗田 隆 09	村石 匡規 07	堀田 和樹 07
	石田 金蔵 05	吹原 盛男 07	S43 清水 精二 06	長門 秀久 09	S63 棚瀬 元雄 07
	木村 睦 09	S36 片桐 敏和 06	緑川 一郎 06	二村 文啓 07	夏 錦言 06
	大屋 昭次 05	黒須 昇一 14	平手 利幸 07	S54 飯塚 正弘 14	H1 中村 正樹 06
	平塚 慶治 09	土方 啓司 17	嘉藤 元昭 07	徳永 尊彦 07	須藤 収 07
	中西 実 05	藤尾 智 11	安田 二郎 05	中村 則之 15	嘉藤 慎也 07
S26	石関 巖 07	山崎 弘 14	石井 明 07	時岡 淳 08	H2 風間 義徳 08
	井出 健一 20	新井 俊雄 09	S44 谷井 明 17	近藤 光浩 07	葛生 秀幸 07
	上島 弘安 07	吉田 輝彦 11	萩原 治生 17	川田 栄世 05	片岡 征喜 06
	奥山 貞男 11	胡屋謙一郎 09	S45 渡辺 勤 07	井上 久裕 07	原田 剛 09
	加藤 慶男 18	横山 洋一 19	須田 福男 08	小林 裕 12	H3 中澤 理 05
	木俣 博匡 14	S37 石塚 鵬 08	石黒 孝夫 09	S55 新井 一仁 14	H4 今野 益男 05
	坂路 誠 17	小林 俊夫 09	S46 高橋 幸夫 06	小池 英敏 05	H5 岩崎勝一郎 22
	清水 正三 17	大塚 昭 09	S47 杉田 悟 07	増子 忠広 07	小林 健一 22
	楢山 清生 17	海老沢正昭 17	S48 鈴木 悦朗 07	宇留間敦司 07	大井 淳 12
	鷹取 将夫 13	飯田 道夫 07	守田 晃 07	高橋 昇 09	H6 北垣 博康 07
	中島 秀夫 22	澤 健之 07	渡辺 道彦 06	S56 菅野 博史 12	平山 学 08
	早川 弘 14	S38 西嶋 正春 08	柴田 富雄 07	高津 康弘 08	根来 憲和 08
	原 道明 09	長谷川健美 09	矢部 治郎 09	巴 誠一 12	H7 高橋 英希 07
	本田 達雄 07	間下 聿幸 14	S49 吉田 洋 06	長瀬 立 12	増島 広通 08
	村田 達夫 14	北野 恒介 07	吉田 一郎 06	日比野晃久 07	H8 伊東 卓男 09
	伊藤 勉 07	中村 義弘 07	店網 邦雄 05	藤池 真 07	H9 青木 孝平 14
	栗田 富雄 09	灰田 宗孝 07	倭文 逸 07	村田 悦男 06	中園 修一 07
	間藤 禎三 05	斉藤 垂夫 06	菊池 秀雄 08	小木多加志 05	高原 文彦 11
	戸谷 謙次 09	飯岡 英彦 09	S50 石川 茂樹 09	馬場 博規 07	松本 仁志 06
	丸山 次郎 09	鈴木 宏明 05	小出 信行 14	藤巻 朗 07	長澤 良和 06
S27	伊藤 信雄 09	山中 南雄 09	星 俊一郎 14	落合 昭 07	H10 清水 正芳 13
	吉田 伸一 09	S39 加藤 仁 07	松本 孝二 12	S57 大城 正人 17	伊藤 健郎 06
	松田 公治 21	松田 広志 08	碓井 斗治 06	亀井 哲郎 07	H11 村野 太郎 09
	稲上 晴邦 05	佐藤 泰夫 09	上杉 健一 08	米森 弘行 08	熊澤 文久 06
	大島 巖 09	広瀬 亮 08	岡本 吾朗 13	門真 泰史 12	村田 健児 10
	田辺 英之 14	S40 杉山 守男 08	佐藤 高広 05	倉島 宏行 06	H12 橋本 陽平 06
	小長井昭司 14	高橋 弘志 14	清水 恒二 09	S58 佐久間 励 12	徳田 和人 08
	田辺 昇 09	平野 泰宏 14	鶴沢 忠 09	勝又 泰平 12	白川 伸一 06
S32	谷越 安男 22	三浦 政彦 07	S51 坂本 俊一 07	田村 隆彦 09	尾形聡一郎 06
S33	市川 京子 08	吉田 光雄 17	西宮 弘之 08	河野 千万樹 07	H13 安部 史 06
	小林 道治 19	丸田 惟久 12	渡邊 博史 07	S59 小山 裕一 07	大塚 文敦 06
	千代田 栄 14	田所 秀男 07	篠山 弘樹 07	東郷 康二 16	山本健太郎 06
					H14 渡辺 隆介 08

開かれた学校づくりを 目指して

校長
杉 一郎



2006年度の生徒募集のための「学校説明見学会」がスタートしました。第1回学校説明見学会(2005年7月9日開催)には、昨年度を上回る500名を超える中学生・保護者の方々が来校され、改めて本校への期待の大きさと責任を強く感じました。秋の3回の学校説明見学会には、それぞれ昨年度同様1,000名前後の方々が来校していただけるものと期待をしています。

本校はここ5,6年大きな改革を行ってきました。ハードの面では、1998年10月の新校舎の竣工、2002年度の総合グラウンドの開設、そして、2004年1月には3階建ての総合グラウンド・クラブハウスを完成させました。総合グラウンドは5ヵ年計画で整備されることになっており、昨年度は野球場の整備(17mのネットフェンス、夜間照明)、今年度は第3期工事として、サッカー場のネットフェンス、テニスコートの夜間照明、人工芝コート等を計画しています。

ソフト面では、1996年度の情報理数科の募集停止、1998年度の男女共学募集開始、2000年度には、生徒による授業評価アンケートを導入し、全授業を公開し、教員、保護者の方々から広く意見を取り入れ、授業改善に取り組んでまいりました。2002年度には、「教育改革キャラバン」を開催し、本校の教育を広く世間に公開し、新しい教育観に基づいた開かれた学校づくりに、大きな期待が寄せられました。更に2004年度には、生徒・保護者・教員による授業評価アンケートの結果を基に、優れた授業を展開している教員に対して、ベストティーチャーとして後援会より表彰して頂きました。

また、昨年高輪会の設立10周年の時にも紹介させていただきましたが、2004年4月に文部科学省から、東京都の私立学校としては唯一、スーパーサイエンスハイスクール(SSH)に指定され、大学等の研究者との連携授業を展開し、最先端の科学技術に触れ、科学技術教育に重点を置く高校として、さまざまな活動を展開しています。

これからも、教職員一同が心一つにして、常に生徒を中心においた学校づくりをすすめて行きたいと思えます。

そして、日本一の学校を目指し、開かれた学校づくりを更にすすめてまいります。今後とも高輪会の皆様の暖かいご支援、ご協力をお願い申し上げます。

学習と部活動の両立を 目指して

教頭
片桐 知己治



朝6時過ぎの地下鉄に乗ると、野球帽をかぶり、バットや大きな荷物を抱えた高校生の集団と出会いました。夏の高校野球の東京都大会が始まったのだな…と思いました。そういえば、本校の監督も「7時半に神宮に着くように出かける」と言っていたな。昨年の東京都大会五回戦、二松学舎との試合の記憶が甦りました。

本校では部活動と学習の両立を目指し、2003年には、部活動後援会を立ち上げていただきました。2004年度に設定した、柔道部(男子)、野球部、サッカー部、男子バスケットボール部、吹奏楽部の5つの重点強化部に、今年度は女子バレーボール部を加えました。

1998年に建てられた現校舎は、文化系の部活動や、体育館・武道館関係の部活動には、十分な施設・設備を備えていましたが、グラウンド関係の部活動にとっては、厳しい環境が続いていました。各顧問は、毎月グラウンド・コートの予約に注意を払い、部員達も、学校が終わると毎日1時間から2時間をかけて、グラウンドまで移動し、8時から9時頃まで練習を重ねていたのです。2002年に開設したさいたま新都心の総合グラウンドは、そうしたグラウンド系の部活動の状況を大きく変えてくれましたし、部活動以外にも、体育祭・スポーツ大会・体育移動教室等、本校の教育内容を大きく変える事にもなりました。なお、総合グラウンドの利用に関しては、上述した部活動後援会に協力にバックアップいただいています。

2005年度は、まだ始まったばかりですが、ここまでに、柔道部の関東大会出場(実は、柔道部員の保科君は、レスリングの東京都代表選手としてインターハイに出場するほかに、フィリピン代表としてカイロで行なわれる世界選手権大会に出場します。)、ダンス部がミス・ダンスドリル全国大会出場がそれぞれ決まっています。また、この他の部活動も、東京都の上位(卓球部都ベスト8、弓道部・個人都9位、男子バレーボール部都ベスト16、男子バスケットボール部都ベスト32など)に進出しています。

東京都の決勝や、全国大会で、本校の野球部、サッカー部等の応援に、在校生、卒業生が集まり、熱狂する。そんなことが夢でなくなる日が近い将来訪れると楽しみにしています。

新人先生紹介

「濃い思い出」

中村 春樹

昨年度は、付属浦安高校で非常勤講師をしていました。今年度より付属高輪台高校でお世話になります。

初めて担任を持たせて頂くことになり緊張していますが、生徒がこの高校で多くのことを経験、体験し、高校時代の思い出が「濃い」ものになるように努力して参りたいと思っております。宜しくお願い致します。



「渾身」

数馬 大介

教員として走り始めてから早五年が経ち、授業の仕方や日常業務にも大分慣れてきました。こういう時だからこそ勝負の時。自身に妥協せず、生徒に対して、私の渾身の力を出し切れるかどうかで、私の今後が決まってくるように思います。

初心の志を忘れることなく、生徒と共に成長する教員を目指し、今後とも精進していきたいです。

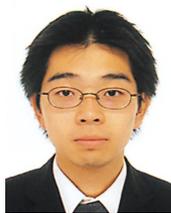


「日々努力」

田村 英典

数学を担当し、3年9組の担任、そして卓球部顧問をさせて頂いています。現在の3学年の生徒たちと高輪台高校暦は同じです。

授業では、生徒からの「なぜ、どうして」という質問を大切に、クラス・部活動では生徒たちが自ら考え行動し、そして、本当の仲間を見つけられるよう生徒たちとともに日々努力をしていきたいと思っています。どうぞよろしくお願致します。



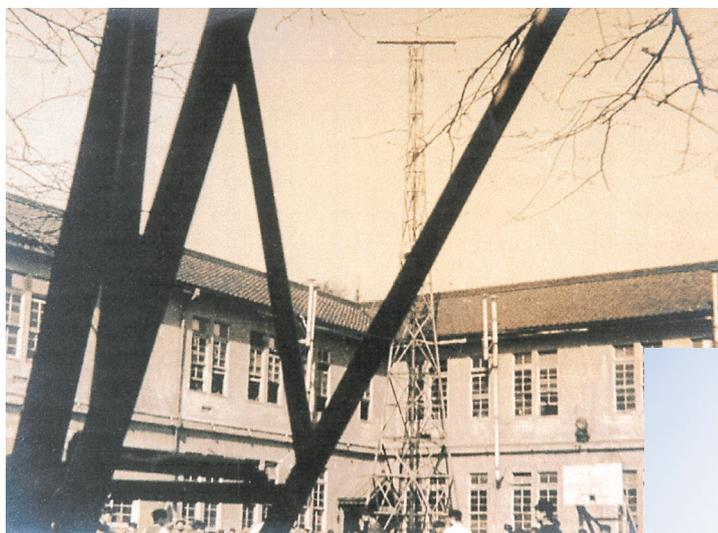
「日々笑顔で過ごせるように」

東出 葉月

中学の頃からの夢であった「教員」という職に就くことができ、非常にうれしく思っています。

さまざまな悩みを抱える生徒達に適切なアドバイスをしてあげることで、一人でも多くの生徒が日々笑顔で過ごせるようになれば、私にとってこの上ない幸せです。

日々精進していきますので、ご支援の程よろしくお願致します。



学校報告・部活紹介

・柔道部

2005年度は、4月に新入生12名が新たに入部し部員40名で新スタートをいたしました。

主将山田を中心に、部員一同日々激しい練習に励んでいます。先日行なわれました、関東大会では予選リーグを勝ち、昨年と同じく決勝トーナメントにこまを進めることが出来ました。準々決勝でおしくも國學院大学栃木高校に敗れてしまいましたが、終始白熱した試合をすることができたと思います。

今年の目標でしたベスト4にこまを進めることができず、選手には悔しさが残った大会だったと思います。この後、金鷲旗高校柔道大会・9月に開催される世界柔道選手権大会(エジプト・カイロ)大会に出場が決定しています。

大会結果

第53回 関東高等学校柔道大会

3年連続12回目出場 団体ベスト8

2005年度 全国高校総体東京都大会 団体5位

個人3位・5位(4名)

2005年 世界柔道選手権大会

100超級 出場 代表決定



・レスリング部

保科 知彦

この度、レスリングで東京都代表としてインターハイに出場することになりました。僕は、中学生の時からこの高輪台高校で練習しています。顧問の酒井先生には6年間近くお世話になっています。酒井先生の指導法は、生徒一人一人にあったスタイルの柔道を指導して下さるので、僕の柔道の技の中にレスリングの技を取り入れ、また、レスリングの中に柔道の技を取り入れ指導して下さいました。そもそも、柔道とレスリングには様々な共通点があります。ヨーロッパではレスリングを始め、その後柔道を始め、世界で活躍している選手もたくさんいるのです。マットと畳、スパッツと柔道着、着ている物や場所は変わっても、高輪台高校で練習していることを忘れず、インターハイでも良い結果が残せるよう頑張ります。



・水泳部

プールがない本校ですが、現在3年男子1名、1年女子1名が所属しており、外部の水泳クラブで週6日練習に励んでいます。

6月には東京都高等学校選手権水泳競技大会に参加し、3年9組の岩村宗俊君が男子200m背泳ぎで2:14.43という成績で第6位に入り、賞状を頂きました。また、彼は7月22日から山梨県で行なわれる関東大会に出場が決定しております。

どうぞ厚いご声援を宜しくお願いいたします。



・卓球部

顧問 田村英典、野崎和夫、藤原広司

2005年度は4月に新入生9名を新たに迎え、部員が総勢25名（そのうち女子3名）で活動しています。3年生の高谷部長を中心に、自主的な練習を積み重ね、チーム一丸となって5月のインターハイ東京都予選に出場しました。

団体の部では念願のベスト8に、ダブルスの部では松野・高谷組がベスト16に入賞しました。惜しくも東京都代表になれなかったものの、大きな目標へのステップとなり、次の大会に向けて全力で練習に励んでいます。



・ダンス部

ダンス部顧問 高木公子・若月多佳子

2005年6月26日に行なわれた『ミスダンスドリルチーム日本大会2005』の東日本予選大会において、フリースタイル部門に出場しました。今年は3位通過で昨年より1つ順位をあげて、日本大会へ進出の2連覇達成です。

日頃の練習を重ねてきた結果がこのような成果に結びついて、本当にうれしい限りです。コーチもなく、なかなか練習場所を捜すのが大変でしたが、今回ありがたいことに高輪台小学校の体育館で練習させていただくことができました。そして、地域の皆さんからも温かい気持ちを頂戴しました。感謝の気持ちでいっぱいです。

今回日本大会の舞台には、代表の10名がたちますが、本校の代表として80名にふくらんだ部員の想いと、支えてくれた卒業生や保護者の方々の期待に応えられるダンスを披露していきたいと思います。8月7日の国立代々木競技場第2体育館での日本大会への応援をよろしくお願いいたします。



■学校・同窓会行事（2005年8月～12月）

- | | |
|----------|---------------------------------------|
| 8月1日（月） | 学園オリンピック（国語・数学・英語・造形・理科）（7月31日（日）～5日） |
| 6日（土） | 学園オリンピック（スポーツ競技大会）（～8日（月）） |
| 8日（月） | 学園教職員一斉休暇（～12日（金）） |
| 15日（月） | 特設・希望者講習（～25日（木）） |
| 27日（土） | 保護者交流懇談会 |
| 9月1日（木） | 避難訓練・朝礼・授業開始 |
| 3日（土） | 後援会委員総会 |
| 6日（火） | 学園基礎学力総合試験・外部実力試験 |
| 8日（木） | 生徒による授業評価アンケート |
| 15日（木） | 前期期末試験（～21日（水）） |
| 29日（木） | 体育祭 |
| 10月1日（金） | 都民の日（休業日） |
| 3日（月） | 後期始業式・後期授業開始 |
| 4日（火） | 中学校・塾教員学校説明見学会 |
| 8日（土） | 第41回建学祭（～9日（日）） |
| 15日（土） | 英語検定試験 |
| 16日（日） | 第2回受験生・保護者学校説明見学会 |
| 17日（月） | 2年保護者面談（～11月19日（土）） |
| 20日（木） | 1年生進路説明会 |
| 22日（土） | 高輪会10周年記念式典 |
| 27日（木） | 1年学年集会 |
| 11月1日（火） | 建学記念日（生徒休業日） |
| 2日（水） | 創立62周年建学記念式典 |
| 4日（金） | 生徒会立会演説会 |
| 5日（土） | 第3回受験生・保護者学校説明見学会 |
| 11日（金） | 後援会湘南校舎見学研修会 |
| 17日（木） | 一斉公開授業（～18日（金）） |
| 24日（木） | 生徒による授業評価アンケート |
| 29日（火） | 1・2年後期中間試験・3年卒業試験（～12月2日（金）） |
| 12月3日（土） | 後援会委員総会 |
| 4日（日） | 第4回受験生・保護者学校説明見学会 |
| 15日（木） | 入試相談 |
| 23日（金） | 特設・希望者講習（～28日（水）） |

2003 年度活動報告

2003 年度 収支決算書 (2003 年 9 月 1 日～2004 年 8 月 31 日)

(単位：円)

収支	科目	予算	決算	備考
収 入	1. 前年度繰越金	4,898,050	4,898,050	
	2. 入会金	4,830,000	4,820,000	10,000 円 *482 名
	3. 維持会費	50,000	690,000	
	4. 懇親会費	0	47,000	1,000 円 *47 名
	5. 積立金	10,000,000	10,000,000	
	6. 預金利息	5,000	1,225	
	7. 雑収入	0	0	
	合計	19,783,050	20,456,275	
支 出	1. 会議費	200,000	168,353	役員会等費用
	2. 広報費	100,000	20,000	連合同窓会会報費
	3. 渉外費	250,000	144,000	連合同窓会参加費等
	4. 印刷費	8,500,000	8,729,945	高輪会会報、会員名簿
	5. 通信費	2,000,000	1,870,569	会報送料等
	6. 旅費交通費	200,000	237,720	連合同窓会、役員会等
	7. 事務用品費	50,000	0	
	8. 懇親会費	600,000	586,892	
	9. 記念品費	330,000	320,292	卒業記念品(証書ホルダー)
	10. 補助費	3,000,000	3,169,663	部活動後援会、記念樹、創立60周年(車)
	11. 慶弔費	50,000	15,775	
	12. 援助費	50,000	0	
	13. 積立金	0	0	
	14. 予備費	0	0	
	15. 雑費	50,000	2,913	
	16. 次年度繰越金	4,403,050	5,190,153	
	合計	19,783,050	20,456,275	
積 立 金	前年度繰越	10,000,000	10,000,000	
	今年度繰入	0	0	
	今年度繰出	10,000,000	10,000,000	
	次年度繰越	0	0	
備考(会報掲載等)				

2004 年～2005 年度事業計画

(2004 年 9 月 1 日～2005 年 8 月 31 日)

2004 年 9 月	総会準備委員会 「高輪会会報 vol.9」発行 連合同窓会参加(茅野市)
10 月	第 4 回高輪会総会東海大学校友会館
11 月	連合同窓会 30 周年記念第 2 回会議 役員会
12 月	創立 60 周年記念式典参列 役員会
2005 年 1 月	
2 月	高輪会入会式・新幹事「懇親会」 役員会
3 月	第 56 回「卒業証書授与式」参列 役員会
4 月	第 62 回「入学式」参列 役員会
5 月	連合同窓会会長会議
6 月	役員会
7 月	
8 月	役員会

お知らせ

□会費納入のお願い

会員の皆様には、同窓会費 1 年分(2 千円)～5 年分(1 万円の一括)の納入を受け付けております。

何年分か明記の上、郵便局備え付け、または同封の振込用紙をご利用下さい。

口座番号 00100 - 9 - 155498

口座名(加入者名) 高輪会

※氏名欄には、必ず卒業年、組をご記入下さい。

尚、すでに納入済みの節はご容赦下さい。

□住所不明者の調査

会報の届かない方(住所不明者)がいらっしゃいましたら、情報(氏名、卒業年、等)を同窓会事務局までご連絡下さい。

編集後記

高輪会会報も今回で、10 号を発行することができました。

これもひとえに、会員皆様のご支援・ご協力のお蔭と感謝しております。

10 周年記念ということで、秋には記念誌発行・記念式典開催と準備を進めております。

この 10 年を節目に、これからも良き伝統と若い力を上手に融和させ、皆様のお力で、新しい高輪会へスタートを!

(三浦 政彦)



同窓会連絡先

高輪会(東海大学付属高輪台高等学校同窓会)事務局

〒108-8587 東京都港区高輪 2-2-16

TEL: 03-3448-4011 ・ FAX: 03-3448-4020

ホームページ <http://www.takanawadai.tokai.ed.jp/>

高輪会事務局分室(株)山久プランニング内(東海大学付属高輪台高等学校同窓会 伊藤信雄)

〒107-0062 東京都港区南青山 4-1-11 リライアンスビル 303

TEL: 03-3405-7283 ・ FAX: 03-5414-5414

E-mail: syamakyu@sepia.ocn.ne.jp